

奈良県感染症情報

平成 27 年 第 26 週 (6 月 22 日 ~ 6 月 28 日)

奈良県感染症情報センター (奈良県保健研究センター)

<http://www.pref.nara.jp/27874.htm> TEL:0744-47-3183

今週の概要

■ 小児科外来情報

手足口病警報発令中です！！

◆ 定点把握感染症報告状況 (定点当たり患者報告数の上位 5 疾患) ◆

順位	疾患名	奈良県			北部	中部	南部
		定点当たり	(前週)	増減			
1	手足口病	6.62	(6.26)	↑	↑	↑	↑
2	感染性胃腸炎	3.26	(3.26)	↘	↘	↘	↘
3	A 群溶連菌咽頭炎	2.09	(2.79)	↘	↘	↘	↘
4	伝染性紅斑	0.68	(0.26)	↑↑	↑↑	↑	↓
4	突発性発しん	0.68	(0.65)	↗	↑	→	↗

発生状況: **大流行** **流行** **やや流行** **少し流行** **散発** (疾患毎に、基準値を定めています。)

増減: 過去 5 週間平均数と比べたときの変化 **↑↑**急増、**↑**増加、**↗**やや増加、**→**横ばい、**↘**やや減少、**↓**減少

◆ 県内概況 ◆

手足口病は今週も報告数は増加し、県内全域で流行が続いています。年齢別では、1 歳から 4 歳の乳幼児が全体の約 75% を占めていますが、5 歳、6 歳の報告数も多くなってきています。

ヘルパンギーナおよび伝染性紅斑(りんご病)が、奈良市保健所管内、郡山保健所管内で増加傾向にあります。いずれの疾患も今後さらに増加すると予想されますので、手洗い、うがいの励行、タオルの共用は避ける等の予防を心がけてください。

感染性胃腸炎は横ばいで推移しています。原因として依然ロタウイルスによるものが基幹定点より 2 例報告されています。

❖ 小児科外来情報 ❖

北部地区(矢追医院)

手足口病の流行が保育園児から小学生に拡大しています。発熱はあっても 1 日程度、口内炎や水泡性発疹も例年に比べ軽症例が多いが、罹患後 1 か月して手足の爪の剥離がみられた子もいる。1 日程度の高熱と嘔吐、嘔気を伴う頭痛がある夏かぜも小学生高学年以上でよくみられる。

熱と腹痛を訴える溶連菌咽頭炎の子もいる。

中部地区(岡本内科こどもクリニック)

外来数は普通。手足口病が流行。殆どは軽症。両親に伝染した例があったが成人は両手足に水疱が多発で子供より重い経過であった。

ヘルパンギーナ様咽頭所見と発熱が先行し水疱がほぼ一日遅れて出現する印象。

他に感染性胃腸炎が流行。

伝染性紅斑は報道されているが当クリニックではまだ見られない。

他にウイルス性発疹症と思われる不明例で分離依頼中の例がある。

南部地区(県立五條病院小児科)

高熱、頭痛、嘔吐ではじまるウイルス性咽頭炎が急増。咽頭痛あるも咽頭発赤は軽微で項部硬直等はなく、対症療法で 1~2 日のうちに軽快するも、髄膜炎様の症状なので鑑別が難しい。

手足口病はやや減少。胃腸炎は夏かぜに伴うものがほとんどであった。

❖ 定点把握感染症報告状況 ❖

平成 27 年 第 26 週 6 月 22 日 ~ 28 日

保健所別報告数	奈良県		北部		中部		南部	
	奈良市	郡山	中和(東)	中和(西)	内吉野	吉野		
インフルエンザ定点数	54	11	16	11	11	2	3	
インフルエンザ								
小児科定点数	34	7	10	7	7	1	2	
RSウイルス感染症								
咽頭結膜熱	11 (0.32)		2 (0.20)	2 (0.29)	7 (1.00)			
A群溶連菌咽頭炎	71 (2.09)	12 (1.71)	28 (2.80)	7 (1.00)	21 (3.00)		3 (1.50)	
感染性胃腸炎	111 (3.26)	12 (1.71)	38 (3.80)	18 (2.57)	38 (5.43)		5 (2.50)	
水痘	7 (0.21)	4 (0.57)	2 (0.20)	1 (0.14)				
手足口病	225 (6.62)	56 (8.00)	60 (6.00)	63 (9.00)	37 (5.29)	3 (3.00)	6 (3.00)	
伝染性紅斑	23 (0.68)	11 (1.57)	9 (0.90)	1 (0.14)	2 (0.29)			
突発性発しん	23 (0.68)	10 (1.43)	5 (0.50)	7 (1.00)		1 (1.00)		
百日咳								
ヘルパンギーナ	23 (0.68)	4 (0.57)	10 (1.00)	6 (0.86)	1 (0.14)	2 (2.00)		
流行性耳下腺炎	4 (0.12)		3 (0.30)		1 (0.14)			
眼科定点数	9	1	3	2	2	0	1	
急性出血性結膜炎								
流行性角結膜炎	3 (0.33)	1 (1.00)	1 (0.33)				1 (1.00)	
基幹定点数	6	1	2	1	1	1	0	
細菌性髄膜炎								
無菌性髄膜炎								
マイコプラズマ肺炎	1 (0.17)		1 (0.50)					
クラミジア肺炎	1 (0.17)				1 (1.00)			
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	2 (0.33)	1 (1.00)	1 (0.50)					

❖ 全数把握感染症報告状況 ❖ ()は保健所別内訳

1類感染症	
2類感染症	結核9件(奈良市3、郡山2、中和2、内吉野2)
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症1件(奈良市)
4類感染症	
5類感染症	アメーバ赤痢1件(郡山) 梅毒1件(奈良市) カルバペネム耐性腸内細菌感染症1件(奈良市) 劇症型溶血性レンサ球菌感染症1件(内吉野)

❖ 第26週のトピックス ❖

<通知>平成27年度インフルエンザHAワクチン製造株の決定について

国立感染症研究所HP
<http://www.nih.go.jp/niid/ia/flu-m/flutoppage/861-idsc/iasrc-in/5732-kj4241.html>

※平成27年2月16日より桜井保健所と葛城保健所は統合され中和保健所となりました。
 旧桜井保健所分は中和(東)、旧葛城保健所分は中和(西)として集計しています。

上段 : 報告数
 (下段) : 定点当たり報告数 報告数÷定点数

年齢別報告数

年齢区分	年齢	0-5M	6-11M	1歳	2	3	4	5	6	7	8	9	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80-	合計	累計
インフルエンザ	男																						3975
	女																						
RSウイルス感染症	男																						198
	女																						
咽頭結膜熱	男			2	1			1		1													5
	女			3		1	2																
A群溶連菌咽頭炎	男		1	2	3	4	3	1	2	2	5	3	8										34
	女				2	3	1	7	5	4	1	4	8		2								
感染性胃腸炎	男		2	14	6	2	1	5	4	4	1	1	3	2	8								53
	女			10	5	7	6	2		5	4	1	3	6	9								58
水痘	男		1				1		1	2	1												1
	女			1																			6
手足口病	男	1	8	37	24	14	14	10	5		3	1											117
	女		5	31	22	21	10	8	7	2	1				1								
伝染性紅斑	男				1	1	2	1	1	1													6
	女					3	2	4	1	2			1		3								17
突発性発しん	男		3	5																			8
	女		5	7	1	1	1																15
百日咳	男																						3
	女																						1
ヘルパンギーナ	男		1	3	3	2		1	1	2			1										11
	女			3	5																		12
流行性耳下腺炎	男					1																	1
	女					1	1																3
急性出血性結膜炎	男																						2
	女																						2
流行性角結膜炎	男																						1
	女															1	1						2
細菌性髄膜炎	男																						3
	女																						4
無菌性髄膜炎	男																						1
	女																						1
マイコプラズマ肺炎	男				1																		1
	女																						7
クラミジア肺炎	男																						1
	女			1																			1
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	男	1																					1
	女		1																				1

❖注目疾患の動向❖ 全て定点当たり報告数

■ H27 ▲ H26 □ H25 〰 過去10年平均

